

桃園小学校・向台小学校統合委員会 要点記録

第 4 回

開催日時	平成28年11月30日(水) 午後6時30分～7時55分	
開催場所	桃園小学校 会議室	
出席者	委員	金田一榮、小平一位、川本豊、加藤洋右、高橋智人、 神保亜理、越坂部千明、瀧本和江、木下克美、清水好博、 岩本昌夫、阿部正幸、奥愛、高木庸子、田中憲治、中村明子、 川畑伊豆海、松井貴子、浅野昭、板垣淑子 (敬称略、順不同)
	その他	子ども教育施設担当、パシフィックコンサルタンツ株式会社
	事務局	学校再編担当
会議次第	【議事】 1 統合新校の校舎（桃園小学校）の改築について 2 その他	

第4回 桃園小学校・向台小学校統合委員会 会議要旨

委員長

定刻となったため、これより第4回学校統合委員会を開会する。本日、傍聴者はいない。本日の統合委員会では、統合新校の校舎の改築に関係して、教育委員会の施設担当職員とコンサルタント会社の担当者が出席している。それでは、早速議事に入る。

1 議事

議事(1) 統合新校の校舎(桃園小学校)の改築について

委員長

それでは、議事(1)「統合新校の校舎(桃園小学校)の改築について」事務局の説明を求める。

■資料「新しい学校建築にあたってのアンケート調査結果概要」についてパシフィックコンサルタンツ株式会社担当者から説明

1 調査目的

「中野区立小中学校再編計画(第2次)」に基づき統合する桃園小学校及び向台小学校の児童、教職員、保護者、地域住民に対して、現在の学校のよいところ、改善すべきところ、今後の学校に望むことなどについてアンケートを実施し、基本構想・基本計画策定に向けた基礎データとする。

2 調査期間

平成28年9月5日～9月30日

3 調査対象及び回答数

- ・4～6学年の児童 桃園小学校 142人
向台小学校 84人

- ・教職員 桃園小学校 20人
向台小学校 7人
- ・全保護者 桃園小学校 93人
向台小学校 142人
- ・地域住民 64人

■資料「施設配置」についてパシフィックコンサルタンツ株式会社担当者から説明

1 前回の統合委員会で頂いた主なご意見

<校庭について>

- ・校庭を広く確保してほしい。
- ・トラックは校舎正面に配置してほしい。
- ・校庭への日照は確保してほしいが、日影が適度にあるほうが良い。
- ・冬場の校庭の氷が融けやすいように配慮してほしい。

<アプローチについて>

- ・児童用の門と開放施設利用者用の門、搬入用の門は離れたほうが良い。
- ・開放施設利用者用の門は分かり易いほうが良い。

<屋上利用について>

- ・屋上に植栽を設置することを検討してほしい。
- ・屋上を児童の遊び場として利用することを検討してほしい。

<プールについて>

- ・プールには、目隠しや風除け、直射日光を避ける対策が必要だと思う。
- ・プールを使用しない時期にビオトープとして利用できないか。

<近隣配慮について>

- ・東側マンションに対する日照に配慮したほうが良い。
- ・地域住民に配慮した計画にすることが望ましい。

<その他>

- ・災害時の避難動線についてしっかりと計画してほしい。
- ・地下のコストを考慮し検討してほしい。
- ・校舎等に日光がしっかりと当たるように計画してほしい。
- ・多目的室や少人数教室、小体育館等、ゆとりのあるスペースを多く配置してほしい。

2 計画条件

- ・高さ制限は、4層分（14.0m）を建てるには北側隣地の境界より約16.0mの解離を確保する必要がある。3層分（10.5m）では約9.5mの解離が必要となる。
- ・敷地周辺に接続している道路は、東側・南側の2方向である。ただし南側道路と敷地の間には約1.0m～1.5mの高低差がある。出入りが可能な道は基本的には東側道路のみとなる。

※現在の校庭について

- ・桃園小学校 校庭合計面積 3717㎡ ※グラウンド有効範囲
トラックの長さ 115m（5コース）直線距離50m
- ・向台小学校 校庭合計面積 2185㎡ ※グラウンド有効範囲
トラックの長さ 100m（4コース）直線距離50m

3 施設配置

イメージ1（現在の校舎配置に近い案）

- ・既存建物に近い配置プランである。4層分の建物を想定しているが、4階は斜線制限のため北側部分を避けた一部のみとなっている。
- ・搬入用の門、開放施設利用者用（開放図書館、キッズプラザ等）の門、児童用の門が近接している。
- ・校庭は既存よりも大きい規模を確保している。

- ・普通教室や特別教室をまとめることが出来、管理がしやすい配置としている。
- ・普通教室は、南、東側に面した配置としている。
- ・特別教室は、南、北、西側に面した配置としている。
- ・管理諸室は、管理のしやすさを考慮し、1階になるべく配置している。
- ・特別支援学級は、校庭に面した1階に配置している。
- ・体育館は、キッズ・プラザと一体型として、校庭を見守ることができる配置としている。
- ・プールは、北側校舎屋上に配置している。

イメージ2（敷地北東側校舎配置案）

- ・北側隣地及び東側道路に建物を寄せた配置としている。4層分の建物としているが、4階は斜線制限のため北側廊下部分の高さを一部低くしたものを想定している。
- ・搬入用の門、開放施設利用者用（開放図書館、キッズプラザ等）の門、児童用の門をそれぞれ分けて計画することが可能である。
- ・校庭は既存よりも大きい規模を確保している。
- ・普通教室や特別教室が北側、東側とやや分散している。
- ・普通教室は、南、西、北側に面した配置としている。
- ・特別教室は、南、北側に面した配置としている。
- ・管理諸室は、管理のしやすさを考慮し、1階になるべく配置している。
- ・特別支援学級は、校庭に面した1階に配置している。
- ・体育館は、キッズ・プラザと一体型として配置するが、校庭を視認できない。
- ・プールは、北側校舎屋上に配置している。

委員長

今説明のあった内容について意見・質問等あるか。

委員

新校舎に和室を作る予定はあるか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

現在策定している計画は、それぞれの教室の面積を確保するというところまでの検討となる。教室の中の仕様として床張りにするか、畳にして和室にするかというところまで検討していない。今後設計の段階で決めていくことになる。

委員

地域開放型学校図書館と児童が利用する学校図書館については、同じ部屋を共同利用するのかということと、キッズ・プラザについて、学童クラブも併設されると思うがこれも同じ部屋で用途を使い分けるのか、教えてほしい。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

まず図書館について、今の想定では地域開放をする図書館は学校図書館とは別に部屋を作るが、学校で使っている図書館も児童が使わない放課後や休日に利用できるように開放するという計画になっている。

キッズ・プラザについて、今の配置計画では体育館の2階にキッズ・プラザと学童クラブ等の機能をまとめる予定であり、同じフロアで利用する計画となっている。

委員

北側の校舎裏のスペースについて、斜線制限の関係で土地の境界からかなり離れて建てなければならないということであるが、前回のイメージ1では14mくらい離れるという話であった。今回の資料案では何メートルくらい離れる必要があるのか。

現況では約8m離れていて、それよりさらに6m広げるとなると、かなりのスペースが裏にできてしまう。そこで、前回は意見があったと思うが校舎を地下化するなりして、現状と同じかさらに北側に寄せて建築できないか検討してもらいたい。統合により700人規模の学校になるが、

なるべく児童に校庭を広く使わせてあげたいという気持ちがある。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

前は14mと説明したが、今回の案では、約10mとしている。

地下化については、コストや工期の面で難しいと考えている。例えば、地上に建てる場合は、基礎部分で大体1m、地盤で2～3mの掘削で済むところを、地下に1層分入れるとなると、倍かそれ以上の掘削をする必要がある。その分の工事費というのがかなり高くなってくる。工期の面でも同じく掘削期間というのが余分にかかってくるのに加え、工期が長くなるということは人件費等のコストも割高になる。

委員

これから50～60年使っていく学校であるので、多少コストが割高になるとか、1年ぐらい建て替えの期間が伸びたとしても、納得のいくものを作ってもらいたいという気持ちがある。地下化できない問題が、コストと期間だけであればもう一度検討してもらいたい。

委員

プールが屋上に設置されるということであるが、規模はどのくらいを想定しているのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

6コースで奥行き25メートル、幅13メートルのサイズであり、今と同等の大きさである。

委員

今と同じくらいの大きさだとすると、統合により児童が増える分、運動できる時間が短くなってしまうと思う。統合後も体育の時間を今までどおりに受けさせるためにも、プールは少し大きくしてもらいたい。クラス数も増えるので、天候に左右されない屋内プールも検討してもらいたい。

委員

校庭にピオトープの設置や花壇の設置についての記載がないが、どのような形になるのか。

区担当

詳細は、設計の段階で行う。同じく教室の配置についても、例えば現段階ではこういう形でやるという方向性が決まっていますが、最終的には設計の中で学校等と一番適切な配置を決めていくことになる。

委員

配置図を見ると、エレベーターが体育館の横にあるが、使用者は誰を想定しているのか。児童も使用できるのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

体育館横のエレベーターは地域開放用として想定している。学校で児童や教員が使用するエレベーターも現在の図面の中にはないが、設置する前提で検討している。

委員

校舎は4階建てになるが、ダムウェーターのような荷物用のエレベーターは設置するのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

ダムウェーターは、給食の配膳用として設置する予定である。その他は検討していない。

委員長

児童用というか人間用と荷物用を兼ねる扱いとすれば良いと思う。

委員

レジュメに、議事2の(1)統合新校の校舎の「改築」とあるが、新築することをなぜ改築と呼んでいるのか。分かりづらいと思う。

区担当

そもそも学校を再編するにあたり、校舎は、そのままの形で内装工事をする「大規模改修」ということで計画していた。また地震に対する安全面が厳しい校舎については「改築」としていた。その後、学校施設について検討する中で、全面改築するという方針になったが、計画の中で使用していた「改築」という言葉で統一している。実際には新築で間違いない。

委員

資料の前回の統合委員会で頂いた主なご意見に「屋上に植栽を設置することを検討してほしい」とあるが、この意見は誰も言っていないと思うので確認してほしい。

事務局

要点記録等で意見を確認し、ないようであれば削除する。

委員長

アンケートには屋上緑化に関する意見はあったのか。

事務局

保護者から意見としてあった。

委員

敷地の緑化については、法的に義務づけられている部分があると思う。

事務局

敷地の何%かを緑化しないといけないので、校庭を広くとることを考えると、屋上緑化することになる。

委員

同じく資料に「ビオトープ」についての意見があるが、屋上プールということが前提であれば利用は難しいと思う。これは私の意見であったが、考慮しなくて良いので削除してもらいたい。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

了解した。

委員

同じく資料に「東側マンションに対する日照に配慮したほうが良い」とあるが、西側の間違いではないか。東側マンションに対しては、覗かれないようにとかそういう配慮になると思う。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

修正する。

委員

出入り可能なのは東側のみという説明であったが、南側にスロープや階段を付けて門を作ることとはできないのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

南側には現在 1.5mほどの段差があるが、その高さを吸収するスロープや階段を設置して門を作れないか検討している。

委員

南側にも門が出来れば、学校の管理もしやすくなると思う。

委員

詳細の教室配置がない中でイメージしにくいところはあるが、統合後児童数が増加した際に、昇降口がこの大きさで大丈夫なのか。また、特別支援学級については共同学習などを今と同じようにスムーズに行うためにはどこに配置すべきなのか。桃園小学校には、現在校舎の裏に学級園、菜園、畑があるがそれはどうなるのかなど様々考えている。

委員長

アンケートにも畑が欲しいといった意見があったと思う。

委員

普通教室をどこに配置するかが気になっている。児童が1日のうちで一番長くいるのは、普通教室なので、なるべく南向きの日当たりのよいところで過ごさせてあげたい。

イメージ1・2ともに体育館を開放用の入り口のすぐそばに置いているため、南の日当たりの良い場所が体育館に取られて、校舎棟の南側に面している部分が少なくなってしまう。体育館の使い勝手を言えば、この体育館の長い辺が南を向いてしまうと、中がとても暑くなり困る。そこで、先に意見があったが南側に門を作れば、そこを開放用の門として、体育館を今ある場所付近に置くこともできると思う。

委員

いろいろな機能を入れるとしてもやはり学校なので児童のためにというのを一番に考えたい。

イメージ1・2も、学校に用事がある来た人はどこで受付をするのか。現在は事務室があるので、門を入れてきてすぐに分かるが、このイメージ図ではどこで学校が外来者を管理するのか分からない。

教室の配置について、普通教室の27教室がどのように配置されるのかを見せてほしい。また、多目的室のように自由に使える部屋が配置できるのかどうか、そのあたりもを見せてほしい。

委員

保護者としては、児童数が多くなることで運動時間が少なくなるのはかわいそうだと思う。人数が増えるので、プールや校庭が広くできないか検討してもらいたい。

委員

体育の授業は、全学年1週間に3時間とる必要がある。統合新校のクラス数が27学級で、プラス特別支援学級となると特別支援学級と一緒に体育をやるとしても28コマとなる。そうすると、常に体育館が使用されている状態となり、体育館で行う授業は1週間に1回しかできない。また雨が降っても振替もできないため体育の授業時間を確保することが難しくなってくる。

委員

桃園小学校のひまわり学級は、現在1時間目を全て体育の授業にしている。それで2時間目以降を通常学級で割り振ったり、学年で割り振ったりしていて、やっと3時間が確保できている。今でも雨天が続くと厳しいため、新校では小体育館のようなスペースが必要だと思う。

委員

校舎の中の教室の配置についてはプロである先生によく聞いてもらうのが良いと思う。

委員

児童の安全を第一に考えてもらいたい。桃園小学校の正門は車通りの多い道路に面している。ここは車がよく通る割には道幅が狭いため、非常に不安である。先ほどから意見があるように、南側に門を作って、そちらを正門にすると、あまり車が通らない道の前なので良いと思う。中野新橋方面に住んでいるが、そこから通う児童は現在の門の位置では、遠回りして学校に入らなければならないので、やはり南側の門は有効であると思う。どうしても東側に門をつくるということであれば、ガードレールを歩道に設置してほしい。

委員

イメージ1・2とも、特別支援教室が2カ所に分かれて設置されている。これはなぜ分けているのか、教えてほしい。

委員

図の中には、特別支援学級と特別支援教室の2つがある。特別支援学級というのは、特別支援の固定級のこと、桃園小学校のひまわり学級のように知的障害のある児童が毎日通う場所である。特別支援教室というのは、今年度から中野区でも導入されたが、ADHDなどの知的障害がない情緒障害の児童を、拠点校の先生が該当校に通ってきて、1～2時間個別に指導をするときに使用する教室のことである。両者の機能は全く違うものである。

委員

特別支援学級と通常学級の児童の交流も大事だと思うので、使い勝手の良いようにしてもらいたい。

委員

児童用と開放用の門と分けてほしいという意見について、門から入るときにどのようにチェックするのか。これは細かい話になるので、検討しておいてもらいたい。

また、桃園小学校の西側にも門があると思うが、それもあったほうが良いと思う。

委員

児童数が倍近くになるので、運動があまりできないのではと心配している。プールを屋内の温水プールにして、いつでも泳げるような環境を整えてほしい。

校舎内は、4階まで吹き抜けになっているところを作って、1～6年生まで全部見渡せるようにすれば素晴らしい学校になると思う。

委員

児童数が倍になるのに、校庭を少し広くしたくらいでは運動量は確保できないと思う。何とか水泳で体を鍛えてもらいたいということで、1年中泳げるようにしてもらいたい。

事務局

中野中学校や第二中学校に温水プールがあるが、外部の利用も認めるような形をとっている。そうすると、また別の問題も出てくると思う。

委員

屋上プールは良い面もあるが、地震が来てプールの破損により水が漏れることもあるのではないかな。

委員

100%大丈夫ということはない。地震があったら必ずどこかにひび割れが入ると思う。

区担当

防災用も兼ねて屋上に設置するというのも考えている。

委員

プールは水が張っているときと、張っていないときのひび割れ状態に違いがあるのか。例えば、冬場は水を入れなくて置いておくことができるのか。一年中水を張っているのは防災時の水として利用するもあるだろう。また、素人考えではあるが屋上にプール分の水が乗っているということは、重みもあるが、逆に言えば水が揺れて免震になるということはないのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

基本的に天井に水の塊があるというのは、少しは揺れを制限する機能があると思う。免震性能とか耐震性能というのは同じように揺れを押し返すという構造になっているので、水があることでその機能を持たせることもできると思う。

水槽については、建物のゆがみによってひび割れ出てくるので、地震の規模の想定によっては完全に安全とは言えないが、ステンレスや強化プラスチックを使用しているのだから、強度としては十分と考えて良いと思う。

委員長

プールの件は身近では十中が屋上にプールがあるので問題はないと思う。

委員

体育館をどこに配置するかというのが一番の課題になると考えている。それによって配置も大きく変わってくると思う。また、防災倉庫をどこに置くかは地域にとって大事な問題なので、早めに決めて教えてもらいたい。

委員長

そのほかに意見はあるか。ないようであれば、統合委員会としての意見をとりまとめたいと思う。統合委員会では意見をまとめて教育委員会に提出し、その意見を尊重してもらおうことになっている。それでは、統合新校校舎の改築に関する意見について、事務局の説明を求める。

■資料「統合新校校舎の改築に関する意見について（案）」について事務局から説明

中野区教育委員会が策定する桃園小学校・向台小学校統合新校の新校舎改築について、以下のとおり意見を取りまとめましたので、学校統合委員会の設置に関する要綱第3条第1項の規定に基づき、報告いたします。

- ・子どもにとっては遊びも学びであるので、統合後の児童数を考慮した校庭の広さやトラックの確保など、最大限の努力をしていただきたいと思います。

- ・キッズ・プラザや地域開放型学校図書館の設置にあたっては、学校関係者以外の動線に十分配慮した配置とするとともに、セキュリティ対策を講ずることで学校運営に支障がないようにしていただきたいと思います。

- ・働く親が増えて学童クラブやキッズ・プラザのニーズが高まっていることから、子どもたちが放課後を安全で楽しく過ごせるように施設を整備してほしいと考えます。
- ・学校は災害時に避難所としても使用されることから、災害時を想定した設計をするなど工夫をしてもらいたいと考えます。
- ・校舎を建築する位置については、近隣住民の方へ十分配慮し、検討していただきたいと考えます。
- ・桃園小学校と向台小学校の両校の伝統を生かした施設づくりをしていただきたいと考えます。
- ・教室の配置など具体的な検討をするにあたっては、学校と十分協議し進めていただきたいと考えます。

委員長

説明のあった資料について、意見の補足・修正等の意見はあるか。

事務局

今回、プールについての意見が多く出たが、それを意見書に入れるかどうかということも協議してもらいたい。

区担当

意見のあった地下化やプールについては、設計会社で検討を行ってもらい、最終的には教育委員会で決めていくことになる。

委員

まとめると、児童数に対応した十分なスペースが確保できるようなものを設置してほしいという意見が多かったのではないかと思います。

委員長

様々な意見はあるが、本日意見を取りまとめたいと思う。事務局何かあるか。

事務局

案なので文言は変わるかもしれないが、「人数に対応した広さのプールの設置や、設置場所を検討していただきたいと考えます」というニュアンスの文を追加したい。

委員長

今の事務局の案のように一文追加するということによろしいか。それでは、今までの意見をもとに統合委員会の統合新校舎の改築に関する意見書の文案を作成してもらおう。最終的な報告書の内容については、委員長・副委員長と学校で調整したいが如何か。

—異議なし—

議事(2) その他

委員長

本日予定していた議題は以上で終了となる。最後に次回の開催日程について、事務局から説明がある。

事務局

次回の開催について2月8日の水曜日でお願いしたい。また、次回から統合時の校舎となる向台小学校の改修工事について協議していくため、会場は向台小学校の会議室をお借りしたい。

委員長

それでは次回は向台小学校で行う。時期が近付いたら開催通知を事務局から送付する。その他に何かあるか。ないようであれば、本日の統合委員会はこれをもって終了する。